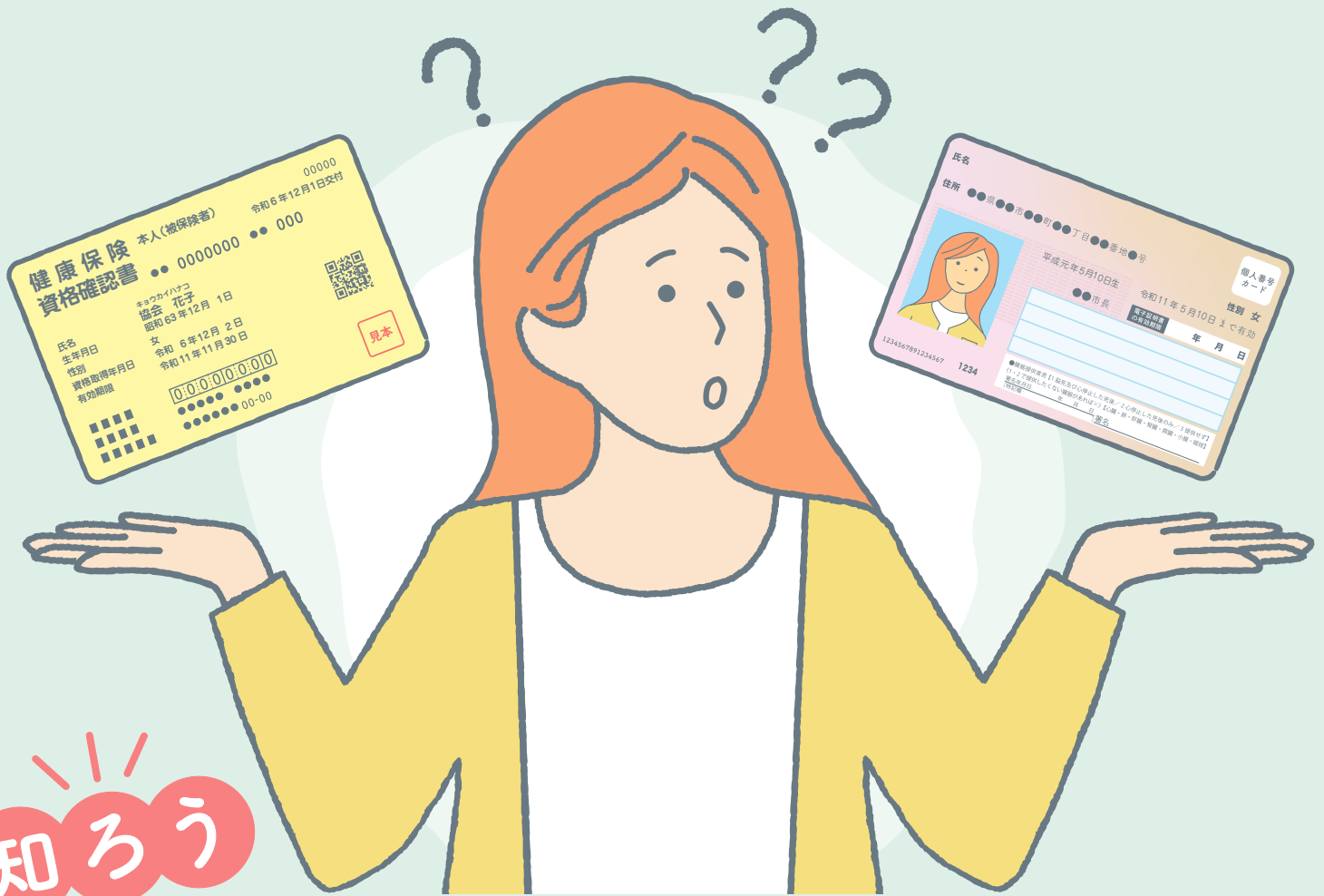


広島

2025

女性に役立つ

ホスピタルガイド



知ろう

マイナ保険証

Q&A

- ＋ 医療保険制度の基本
- ／ 知らないと損 /
- ＋ 高額療養費制度
- ＋ マイナ保険証のメリット
- ＋ マイナンバーカードを
持っていない人は…？

掲載地域

広島市、呉市、福山市

●乳腺科 ●内科 ●脳神経内科 ●リウマチ科 ●放射線科 ●外科
●整形外科 ●脳神経外科 ●耳鼻咽喉科 ●眼科 ●歯科 ●矯正歯科



▲リウマチ・膠原病、呼吸器内科、女性の健康をサポートする内科診療を行なっています。

安佐南区

手足から女性の健康を支える リウマチ・膠原病と呼吸器疾患専門のクリニック 医療法人 MIRAI・BOSHI 安佐南内科リウマチ科クリニック

院長紹介



PROFILE
舟木 将雅 先生

日本リウマチ学会認定専門医・指導医、日本リウマチ財団リウマチ登録医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、Master of Project Design

医師紹介



PROFILE
河野 美保 先生

日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医

MESSAGE

当医療法人は、心をつなぎ、自分らしく生きることを支えるを理念として、人と人との対話を大切に「ゆき届く医療の実現」を目指しています。リウマチ・膠原病専門チームでは、リウマチ財団登録看護師、理学療法士、薬剤師、リウマチ相談員などの専門職が在籍してトータルケアを提供しています。内科医の視点で女性の健康を支えるフェムケアを行なっています。今こそ、後回しにしてきた「わたし」を大切にするために「わたしの健康」を一緒に考えてみませんか。

「起床時に手のこわばりがある」「手指の腫れや痛みが続く」といった症状は、関節リウマチや膠原病、女性ホルモンの影響、変形性手指関節症、腱鞘炎などの可能性があります。これらは女性に多い病気です。リウマチ・膠原病と呼吸器疾患（間質性肺炎や気道病変）は密接な関係があります。このため院長はリウマチ専門医と呼吸器専門医の資格を取得。全身疾患であるリウマチ・膠原病の早期診断のため、専門スタッフによる問診に時間をかけ、専門医の診察から必要な検査を選択するなど総合的に判断して治療方針を立ててもらえます。

院内では血液検査、画像検査の当日実施が可能。特に関節エコー検査はリウマチの早期診断や活動性の評価に有効です。またCT検査は肺がんの診断や間質性肺炎のフォローとして最適です。画像検査はすべて呼吸器専門医と放射線科医によるダブルチェックを行います。正確な診断を行っています。

検査結果をスマホで確認できるアプリを導入

同院では「Medaca」というアプリを導入して、検査結果を受診者のスマートフォンに送っています。結果を早く知ることができる上、他院を受診する際にも活用できるので大変便利です。検査結果を分析し、骨粗鬆症のリス

クや通常の検査では把握できない腎機能の評価、肝臓疾患の早期発見など、医師からのコメント・アドバイスももらえるのがうれしいですね。免疫やがんの専門医も在籍しており、他の専門医へ相談が必要な際はMIRAI・BOSHI医療連携システムを使用して、信頼できる専門医に迅速に紹介してもらえるなど、安心して相談できる心強いクリニックです。



▲画像検査を通して正確な診断を行います



▶スマホで検査結果を見ることができます

安佐南内科リウマチ科クリニック

広島市安佐南区伴東 5-21-35

082-849-6200

<https://www.asaminami-clinic.jp/>

- 診療科目：内科、リウマチ科、呼吸器内科
- 休診日：日曜、祝日
- 予約制：あり

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00～18:00	○	○	△	○	○	○	△

予約制 夜間診療 駐車場 53台 *無料



アクセス：アストラムライン伴駅より徒歩 8 分



手指のこわばり、手指の痛みは女性に多い症状です

朝起きた時、手指の動かしにくさはありませんか？

日常で手指にこわばりや痛みがあっても、「使いすぎかな？」「年のせいだろう」と我慢して、症状がひどくなってから来院される患者さんを診療することがあります。特に40～60代の女性は仕事や家族のことを優先し、「自分の健康」を後回しにしている方が多いのではないかと思います。



出典：2020 リウマチ白書を一部改変

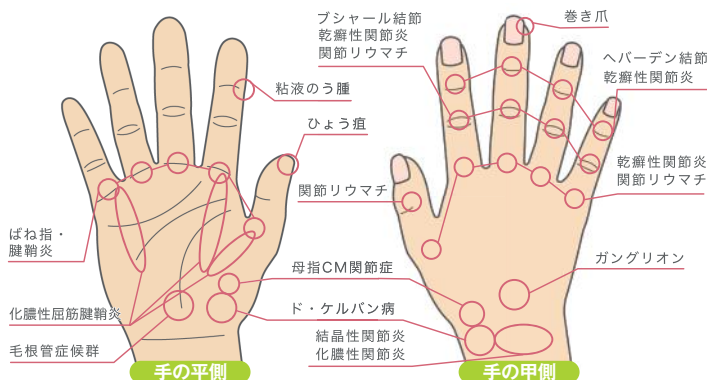
手足の関節が腫れたり痛くなったりする病気の中には、リウマチや膠原病といった自己免疫性疾患があります。自己免疫性疾患は、早期に診断したほうがよい病気です。関節リウマチになると関節に炎症が起こり、痛みや腫れが続きます。進行すると骨が変形して手首が動かしにくくなったり、指が変形してしまいます。関節リウマチの患者数は82.5万人と推定されており、有病率は、日本人の0.6～0.7%前後。40～60代の女性に多く見られる、比較的メジャーな病気です。関節リウマチかどうかは触診、血液検査、関節X線検査、関節エコー検査の結果をみて、総合的に診断します。かつては「治らない病気」といわれましたが、治療法は日々進化しており、適切な治療を行えば、健康的な生活を送ることができます。痛みや炎症が自然に治ることはないので、まずは専

門医に相談しましょう。

手や足の痛みには
リウマチ以外の原因もあります

関節の腫れや痛みは、さまざまな原因で起こります。リウマチと症状が似ている病気には、膠原病、腱鞘炎、ばね指、変形性関節症などがあり、女性ホルモンの変動によるゆらぎ更年期でも、手や足が痛くなるケースがあります。

男女の体には泌尿器と生殖器に大きな違いがあり、それぞれ特有の病気があります。男女共通で起こる病気でも性差があることがわかっており、脂質異常（コレステロール上昇）、腰痛、肩こり、関節症、骨粗鬆症、関節リウマチなどは、女性に多いと報告されています。ライフステージを考慮しながら予防、診断、治療を行う「性差医療」を意識することが女性の健康維持には必要ではないでしょうか。



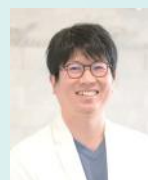
リウマチ・膠原病は女性に多い病気です

関節リウマチや膠原病は女性に多く、関節リウマチの発症率は男性の3倍以上といわれています。家族にリウマチ・膠原病になった人がいなくても発症することがあり、誰もがなる可能性がある病気です。関節リウマチの進行は個人差があり、早い人は発症から6カ月で関節破壊が始まります。手足の不調でリウマチ・膠原病が心配になった場合は、

日本リウマチ学会リウマチ専門医の診察を受けることをお勧めします。

安佐南内科リウマチ科クリニックでは関節リウマチを早期に診断するため、日本リウマチ学会登録ソノグラファーによる関節エコー検査を実施。専門医が学会ガイドラインに準じた治療の説明をした上で、本人の症状にあった治療を提案します。

Adviser



安佐南内科リウマチ科クリニック
院長
舟木 将雅 先生

広島市出身。県立広島病院、広島市民病院、東広島記念病院、中国中央病院、JR広島病院で呼吸器内科、リウマチ膠原病科で診療経験を積み2019年開業。日本リウマチ学会認定専門医・指導医、日本リウマチ財団リウマチ登録医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、Master of Project Design

安佐南内科リウマチ科クリニック
広島市安佐南区伴東 5-21-35
☎ 082-849-6200
<https://www.asanami-clinic.jp/>

詳しい
クリニック
情報は
37ページへ！